

令和5年度 第4学年 音楽 評価規準

江戸川区立大杉第二小学校

4年 p. 4～5

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜導入＞ 「TODAY」 (随時扱い)	知識	曲想と旋律のもつリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「TODAY」の曲想と、旋律のもつリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や、旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「TODAY」の旋律や、旋律のもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「TODAY」の曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

4年 p. 6

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 「早口」 (毎時扱い)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「早口」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「早口」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律やリズム、音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「早口」の旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉の面白さを生かした輪唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 言葉の面白さを生かした輪唱に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜スキルアップ＞ 早口言葉でラップを 楽しもう！ (毎時扱い)	知識	リズムフレーズのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付く。	＜知-①＞ リズムフレーズのつなげ方や重ね方について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ リズムや音の重なりを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉の面白さを生かしたボイスアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 言葉の面白さを生かしたボイスアンサンブルに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜にっぽんのうた みんなのうた＞ 「さくら さくら」 (共通教材) ◎さくら変そう曲 (2時間扱い・4月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「さくら さくら」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「さくら さくら」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の反復や変化、もととなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりする。	＜思-①＞ 「さくら さくら」の旋律の反復や変化、もととなる音階、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、箏の音楽のよさを見いだして聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「さくら さくら」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽鑑賞
歌声ひびかせて (4時間扱い・4～5月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○		
	技能	互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○		
	思考・判断・表現	歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見い出してミュージカルの音楽を聴く。	歌声や旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見い出してミュージカルの音楽を聴いている。			○
	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽鑑賞
ひょうしと せんりつ (6時間扱い・6～7月)	知識	曲想と拍やその流れなど音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と拍やその流れなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○		○
	技能	互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。	互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。	○	○	
	思考・判断・表現	拍やその流れ、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見い出して聴いたりする	拍やその流れ、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見い出して聴いたりしている。	○		○
	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○		○

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ 音の動き方を生かして せんりつをつくろう (2時間・7月)	知識	音の動き方やフレーズのつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付く。	＜知-①＞ 音の動き方やフレーズのつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 音の動き方やフレーズのつなげ方を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	音の動きの生み出すフレーズの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 音の動きの生み出すフレーズの特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜につぼんのうた みんなのうた＞ 「まきばの朝」 (共通教材) (1時間扱い・7月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「まきばの朝」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 互いの歌声や伴奏を聴き、「まきばの朝」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「まきばの朝」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「まきばの朝」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜めざせ 楽器名人＞ 「ハロー サミング」 「もののけ姫」から (毎時・9月～)	知識	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付く。	＜知-①＞ リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	技能	音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能及びサミングの技能を身に付ける。	＜技-①＞ サミングの技能を身に付けている。 ＜技-②＞ 音色や響きに気を付けて、互いの音や副次的な旋律、伴奏を聴き、音を合わせて「もののけ姫」から を演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	旋律や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「もののけ姫」から の旋律や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 高音の響きやリコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
曲に合った歌い方 (4時間扱い・9月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れやフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	旋律の流れやフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	曲想を生かした歌唱表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
かけ合いと重なり (3 時間扱い・10 月)	知識	曲想と呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	楽器の音や掛け合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	楽器の音や掛け合いと重なり、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響きを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	楽器による呼びかけ合いや音の重なり、楽器の響きを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜にっぽんのうた みんなのうた＞ 「もみじ」(共通教材) (2 時間扱い・10～11 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「もみじ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、「もみじ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「もみじ」の旋律や旋律どうしの関わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想、声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「もみじ」の歌詞や曲想、声部の役割を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽今昔 (6時間扱い・11～12月)	知識	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	○		○	
	思考・判断・表現	旋律や歌い方、楽器の音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味わって聴いたりする。	旋律や歌い方、楽器の音色、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味わって聴いたりしている。	○	○		
	主体的に学習に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わる様々な音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	我が国や諸外国に伝わる様々な音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ 音階をもとにして 音楽をつくろう (2時間扱い・12月)	知識	さまざまな音階の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付く。	＜知-①＞ さまざまな音階の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付ける。	＜技-①＞ 設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	旋律や旋律のもととなる音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	＜思-①＞ 旋律や旋律のもととなる音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	日本に伝わる音楽の音階をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 日本に伝わる音楽の音階をもとにした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
アンサンブルの楽しさ (3時間扱い・1月)	知識	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。		○		
	技能	音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	フレーズの呼びかけ合いや音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		

	主体的に学習に取り組む態度	曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	曲想や各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		
--	---------------	--	---	--	---	--	--

○＝本評価規準例における中心的な項目

4年 p. 52～53

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・2月)	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。			○
	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。			○
	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

4年 p. 54～55

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽鑑賞
わたしたちの表げん 〈選択A 器楽〉 (2時間扱い・2～3月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。		○	
	技能	互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○	
	思考・判断・表現	楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	楽器の音色や音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○	
	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
わたしたちの表げん 〈選択B 歌唱〉 (2時間扱い・2～3月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わり，曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴き，声を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	互いの歌声や伴奏を聴き，声を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	歌声や音の重なりを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら，聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の特徴を捉えた表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	歌声や音の重なりを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら，聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の特徴を捉えた表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，1年間の学習を生かして，主体的・協働的に学習活動に取り組む。	声を合わせて歌うことに興味をもち，音楽活動を楽しみながら，1年間の学習を生かして，主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 役わりをもとに 音楽をつくろう (3時間扱い・3月)	知識	音の動き方やフレーズのつなげ方、全体の構成や各声部の役割について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付く。	〈知-①〉 音の動き方やフレーズのつなげ方、全体の構成や各声部の役割について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり、音楽の仕組みをもとに音楽をつくったりする技能を身に付ける。	〈技-①〉 設定された条件に基づいて、即興的に音を選択する技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。	〈思-①〉 フレーズの呼びかけ合いや合いの手、支えとなる音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 役割を生かした音楽づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈いろいろな歌声を楽しもう〉 歌げき「魔笛」から (2時間扱い・随時)	知識	曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	〈知-①〉 歌劇「魔笛」の曲想と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	歌声や旋律、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴く。	〈思-①〉 歌劇「魔笛」の歌声や旋律、伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	歌劇の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 歌劇の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる				○

○＝本評価規準例における中心的な項目